

# 学会記事

## 2020年度第9回執行理事会議事録

日程：2021年2月13日（土）13:00～18:20

【WEB会議】

出席者：磯崎会長・平田・佐々木・中澤・緒方・亀高・辻森・星・坂口・小宮・大藤・狩野・松田達生・矢部・高嶋・岡田・ウォリス・松田博貴（法務委員長 15:00-）

事務局 澤木

\*定足数（過半数：9）に対し、17名の出席  
\*前回議事録（20-8回）の確定。

### II 報告事項

#### 1. 全体的報告

- ・学会運営検討タスクフォース第2回会合報告（→審議事項へ）
- ・「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（中間報告：2020年12月16日）に関するアンケート協力依頼があった。議論の方向性に異存はないが、検討期間が短く学会としての意見をまとめるのが難しいため具体的な回答はなしとする。
- ・文部科学省共同利用・共同拠点認定および継続申請のための要望書提出依頼があり、それぞれ対応した（東京大学大気海洋研究所、高知大学海洋コア総合研究センター、名古屋大学宇宙地球環境研究所、新潟大学災害・復興科学研究所、鹿児島大学国際島嶼教育研究センター）
- ・第12回地理学連携機構、地理関連学会連合、人文・経済地理関連学会協議会合同総会（3/27：オンライン）開催通知があった。欠席予定。

#### 2. 運営財政部会（緒方・亀高）

##### 1) 総務委員会

- <共催・後援依頼、他団体の募集等>
- ・基礎地盤コンサルタンツ株式会社より役員就任の挨拶（代表取締役社長 柳浦良行氏）
- ・令和3年度海洋プラスチックごみ学術シンポジウム開催案内（3/3開催予定）および講演者募集【→ニュース誌1月号、geo-flash掲載】
- ・令和3年度苗場山麓ジオパーク学術研究活動の募集（3/5締切）【→ニュース誌1月号、geo-flash掲載】
- ・第18回（2021年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦依頼があった（4/5締切）。学会締切3/25【→ニュース誌2月号、geo-flash掲載】
- ・第10回学生のヒマラヤ野外実習ツアー実施延期の連絡があった。
- ・多摩六都科学館春の特別展の開催案内（47都道府県の石-「県の石」を見てみよう-開催期間：3月20日（土）～5月9日（日））【→ニュース誌2月号、geo-flash掲載】
- ・科学技術振興機構 未来社会創造事業（探

索加速型）重点公募テーマ策定のためのテーマアイデア募集(2月10日（水）～随時募集）【→ニュース誌2月号、geo-flash掲載】  
<会員>

1. 今月の入会者(5名)  
正会員（4名）：鬼頭 直、佐藤浩二、宮崎裕子、黒澤敏信（除籍再入会）  
正（院割）会員（1名）：友岡洋介
2. 今月の退会者（1名）  
正会員（1名）：中川美菜子
3. 今月の逝去者(4名)  
名誉会員（1名）：黒田吉益（逝去日2021年1月4日）  
正会員（3名）：宇田進一（逝去日2021年1月3日）、松島義章（逝去日2021年1月12日）、楡井 久（逝去日2021年1月28日）
4. 2020年1月末会員数  
賛助：27、名誉：41、正会員：3368〔内訳正会員：3279、院割会員：86、学部割会員：3〕  
合計 3442（昨年比-167）  
<会計>  
特になし  
<その他>  
・会員管理システムのクラウド化については、年度内に実作業着手の予定。
3. 広報部会（坂口・小宮）
  - 1) 広報委員会（坂口）
    - ・フォトコンテスト応募を2/1に締切った。応募総数435点。3月16日に審査会開催予定（緊急事態宣言が解除された場合、従来通り対面で開催予定）。
    - ・代替企画のキャリアビジョン誌（PDF）をホームページ上で公開準備中。
  4. 学術研究部会（辻森・ウォリス・星）
    - 1) 行事委員会（星）
      - ・2021年学術大会（名古屋）について（→審議事項へ）
    - 2) 専門部会連絡委員会（辻森）
      - ・部会規則整備と年次活動を各部会に依頼中。4月理事会で報告予定。現行地質過程部会、堆積地質研究部会から部会規則、年次報告の連絡があった。
      - ・2020年度東北支部総会・講演会の代替企画
    - 3) 国際交流委員会（ウォリス）
      - ・2/4に台湾地質学会とのオンライン会談をおこなった（出席者：磯崎会長、ウォリス、台湾地質学会会長）。今年5月の台湾地質学会100周年にあたり磯崎会長からビデオコメントを贈る予定。今後の協力体制としてオンラインを生かして学術大会での合同セッション開催などを検討したい。
    - 4) 地質標準化委員会（辻森）  
特になし
    5. 編集出版部会（大藤・狩野）
      - 1) 地質学雑誌編集委員会（大藤）
        - (1) 編集状況報告（2月10日現在）
          - ・2021年投稿論文：1〔内訳〕口絵1（英文1）
          - 査読中：27 受理済み：18（うち特集号10案内書2）
          - ・127巻2月号：通常号 論説4、レター1（約

56頁 校正中)

- ・127巻3月号：特集号 論説3、通常号 レター1（約55頁 入稿作業中）
- 2) アイランドアーク編集委員会（狩野）
  - (1) 編集状況報告
  - (2) その他
    - ・地質学会/Wileyとの契約延長に際して、以下の変更事項の報告があり承諾した。Wiley社の負担軽減のため、Island Arc賞の賞金廃止（2023年から）、ダウンロード賞廃止、Editor退任時の感謝状の郵送を廃止。また、オンライン機関購読の購入義務を廃止する。これに伴い、学会側の購読費負担\$5,000/年が削減される（ただし、会員数分のオンラインアクセスはこれまで通り保証）。以上、執行理事会で承認した。これらについて次回理事会報告とする。
- 3) 企画出版部会（小宮）  
特になし
- 6. 社会貢献部会（松田・矢部・高嶋）
  - 1) 地学教育委員会（高嶋）
    - ・大学共通テストの試験問題講評・意見書（→審議事項へ）
  - 2) 地質技術者教育委員会（佐々木）
    - ・3月7日開催予定のJABEEオンラインシンポジウム  
→準備は予定どおり。  
→HPの案内を刷新。関係大学、団体に案内メールなど送信。  
→2月25日関係者がWEB打合せ  
→JABEEのHPやメルマガで、本シンポジウムを紹介してくれることになった。
    - ・地質技術者教育委員会  
→1月19日第3回委員会をWEB開催。  
→シンポの進捗確認の他、JABEE運営体制やHPの刷新について議論
    - ・JABEE  
→地球・資源分野の運営体制については、2月1日までに運営委員からの意見を提出。現在まとめ中。資源・素材学会が3月の理事会で最終検討とのこと。その後、最終案が地質学会他に提示される予定。  
→審査メンバーにJABEEから委嘱状の案内あり。審査は5月からWEB会議で開始予定。  
→WEB審査に関する分野打ち合わせが2月12日、JABEE主催の勉強会が2月22日に開催される。
    - ・CPD  
→地質学会が所属する「土質・地質技術者生涯学習協議会」の今年度のWEB会議が3月中旬開催される予定。  
→土質・地質技術者生涯学習協議会の上部団体である建設系CPD協議会から「建設系技術者の継続教育を考える講演会（ウェブ開催-新しい生活様式におけるCPDの取組み-）が2月24日に開催される案内があり、地質技術者教育委員会内に伝達。
  - 3) 生涯教育委員会（矢部）  
特になし
  - 4) 地震火山地質こどもサマースクール（松

- 田)
- ・2022年度開催地候補の募集を締切った(2/10).
7. その他執行理事会の下に設置される委員会
- 1) 利益相反マネージメント委員会 (中澤)
- 報告なし.  
特になし
8. 理事会の下に設置される委員会
- 1) ジオパーク支援委員会 (委員長 天野: 代理 平田)
- ・再認定審査結果 (新規 (エリア拡大) 認定 :1, 再認定: 9, 条件付き再認定: 2)
  - ・ジオパークコンソーシアム (仮) への正式参画について: 名称は「日本ジオパーク学術支援連合」となり, 分担金はなく, 事務局はJGNが担当するとのこと. 本学会も積極的に参加する方針を再確認した. 次回理事会審議事項とする.
- 2) 地学オリンピック支援委員会 (高嶋)
- ・2次予選が1月にオンラインで実施され, 本選が3月つくばで実施.
- 3) 支部長連絡会議 (平田)
- ・東北支部で支部総会代替企画として動画配信が計画されている.
- 4) 地質災害委員会 (松田)
- ・防災学術連携体臨時総会および法人設立準備会臨時総会 (2/26: Zoom開催) 開催通知があった. 中澤常務理事が出席する.
  - ・東日本大震災から10年にあたる会長コメントを準備中.
- 5) 名誉会員推薦委員会 (佐々木)
- ・2月10日に候補者推薦募集を終了. 複数の応募があった. 今後, 委員会で審議し, 4月理事会を経て6月総会に諮る予定.
- 6) 各賞選考委員会 (中澤)
- ・選考作業中(zoomで実施). 議論内容メモを残すことにした.
- 7) ジェンダー・ダイバーシティ委員会 (委員長 堀 利栄; 代理 中澤)
- 特になし.
- 8) 法務委員会 (委員長 松田博貴)
- ・行動規範の改定一次案 (→審議事項へ)
- 9) 連携事業委員会 (中澤)
- 特になし
9. 研究委員会
- 1) 地質環境長期安定性研究委員会 (委員長 吉田英一)
- 特になし
- 2) 南極地質研究委員会 (委員長 小山内康人)
- 特になし

## I 審議事項

1. 行動規範の改訂一次案 (法務委員会 委員長 松田博貴)
- ・改訂一次案を了承. 会長へ答申.
2. 山田科学振興財団研究援助助成候補者推薦
- ・1件の応募を学会推薦することで承認した.
3. 各賞選考委員会規則の改正 (中澤)
- ・規則改正案を承認. 次回理事会で提案.
  - ・過去の受賞者を学会ホームページで確認で

きるようにする (現在は2008年まで).

4. 大学入学共通テストの結果について (高嶋)
- ・入試センターへ地学関連科目の問題作成および得点調整に関わる意見書を2月中に提出する. (2月22日付提出)
5. 地質系若手人材動向調査 (坂口)
- ・昨年度は実施せず. 今年度実施することを承認した.
6. 学術大会関係 (特に名称と運営について) (星)
- ・名称を「名古屋大会」または「名古屋オンライン大会」とする.
  - ・演題登録やプログラム編成等にConfit Allを利用し, 大会準備・運営の一部または大部分をイベント業者に委託する.
  - ・セッションはオンラインとなるため日程を5日間程度に拡大したいが, 地球化学会など他学会の日程も考慮して決定する.
7. 企業展示が対面で開催できない場合, 企業広告冊子を作成して参加者へ配布する. 一社あたり3万円前後の広告費を予定. ショートコース (星)
- ・今後もショートコースを継続的に実施する方針を確認した. 基礎的テーマ, 先端テーマに加えて, 研究者の哲学的な話も入れたらどうかなどの意見が上がった. それらも考慮して, 令和3年度春~夏のコースについてテーマと講師を検討する. 必要に応じて専門部会の協力を得るようにする.
  - ・今後は学術研究部会と理事数名でチームを作って企画・検討をすすめたい (院生会員を含めることも検討).
8. 「地質の日オンライン一般講演会」(仮称) (星)
- ・「地質の日」に一般向け講演会を実施する (YouTubeライブ配信). 宣伝はSNS, ポスターのPDFをメール等で関係者に送る. 参加費は無料とするが, 視聴者から寄付を募る方法を検討する.
9. 専門部会から部会独自の大会優秀発表賞設置について (星)
- ・一部専門部会より, 学術大会で部会独自の賞を出したいと要望があったが, 現行の「優秀ポスター賞」との兼ね合いもあり実現は難しい. 現在は口頭発表に対する賞がないので今後検討をしたほうが良いとの意見があった.
10. 学会運営タスクフォース第2回会合 (中澤)
- ・地質学雑誌を完全電子化した際のいくつかパターンでの細かな試算を行った. ニュース誌は現状通り冊子体12冊/年発行を維持しても年間500万円/年の削減となる. やはり財政面を鑑みて早急に地質学雑誌の電子化を行うべき. 2022年1月号からの電子化を目指し, 4月の理事会, 6月の総会へ提案する. またこれら検討状況や方針を随時に会員に告知するよう心掛ける.
  - ・院生の会費の値下げなどもセットで議論が必要となる.

以上

2021年3月15日

一般社団法人日本地質学会執行理事会  
会長 (代表理事) 磯崎行雄  
署名人 執行理事 中澤 努